

うるま市立高江洲中学校
学校だより
2021年度 第5号
発行:校長 松堂弘政



同志小

「同志小(どうしぐわあー)」とは
同じころざしをもった仲間(友達)が集
まった学校を目指すという意味です。

2学期のスタートの様子

2学期の「抱負」

9月6日から2学期がスタートして1ヶ月が過ぎようとしております。生徒のみなさんは、2週間の分散登校とオンラインを併用した取り組みでスタートし、日々の検温、マスクの着用、手洗い等の新型コロナウイルス感染拡大防止の対応やこまめな水分補給での熱中症対策を行いながら日々の学校生活を送っております。一学期は、個々の目標の基礎となる根っこをしっかりと築く学期で、二学期は、その根っこをたくたくましく育てて成長という花を咲かせる学期になります。自分の良いところや課題にしっかりと向き合い、長い2学期を充実した日々になるように計画的に粘り強く過ごして下さい。

2学期の始業式での各学年代表の抱負を紹介します。
(一部内容を抜粋しております。)

【一学年代表：藤澤 結月】

・皆さん、夏休みは楽しく過ごせましたか。2学期を充実させるために、一学期を振り返って私は、目標を3つ立てました。一つ目は「協力する」です。大きな行事をみんなで協力して盛り上げ、仲を深めていき、楽しめるようにしたいです。二つ目は「確かめ」です。何事も確かめをして、丁寧に作業が行えるようにしたいです。三つ目は「自分で考え行動する」ということです。自分から仕事を見つけ、考えて行動できる成長した姿を見せたいと思います。コロナの中でいろいろな事が制限されていますが、自分達で楽しみを作り、コロナに負けないくらいの元気と笑顔で、2学期を充実させたいと思います。

【二学年代表：伊是名 野々子】

・久しぶりに友達に会い、ちょっと恥ずかしかったけれど、元気な笑顔がそろって嬉しかったです。2学期は体育祭や合唱コンクール、修学旅行の準備など、楽しみにしている行事がいっぱいなので、どうか中止にならないようにと祈っています。うまく学校生活が回らないこともあります。一つ一つしっかりと乗り越えて、みんなと楽しい思い出をたくさん作りたいです。どの行事もみんなとのコミュニケーションが大事です。自分から積極的に行動し、盛り上げて行きましょう。部活動でも、先輩たちが残した伝統をしっかりと引き継ぎ、新たな目標に向かって頑張りましょう。

【三学年代表：金城 瑛翔】

・皆さん、夏休みはどう過ごしましたか。3年生は受験勉強はもちろん、宿題も多く、毎日勉強に励んだのではないかと思います。私も毎日、塾に通い、宿題をこなしてきました。全てが自分の力になったと思います。2学期もコロナの影響で学校生活にも支障が出てくるかと思っています。だけど、部活動の自主練をしたり、学校の勉強の復習をしたり、後悔しない生活を送ってほしいと思います。自分達で今できることは何かを考え、コロナだからと言い訳せずに後悔の無い毎日を過ごしていきましょう。

【生徒会代表：大城 峻椰】

・今年の夏休みは、どのように過ごしましたか。去年と比べて長めの夏休みとなりましたが、新型コロナの影響で外出ができず家の中で過ごした人も多いと思います。2学期がスタートし、1年生は中学校生活にだいぶ慣れてきて自分なりの学校生活や学習の仕方が身についてきたと思います。2年生は各種検定試験や自分の進路に向けた学習も本格化してきたと思います。3年生は高校入試に向けて、勉強漬けの日々が続いているのではないのでしょうか。2学期は、新型コロナの影響で色々な行事が延期または中止になってしまうかもしれませんが、私たち生徒会は、今できることを全力で取り組みたいと考えています。

分散登校とオンライン授業の様子

8月は、新型コロナウイルスの爆発的な感染拡大で新たな感染者が増加する状況が続き、いろいろな面で自粛する我慢の日々が続いたと思います。学校では、命の安全を優先にしながらどのように生徒の学びの保障をすればいいのか、先生方や地域の方とも話し合いを重ね、9月7日から9月17日までの期間「分散登校とオンライン授業」を併用した取り組みで2学期をスタートいたしました。



(登校した生徒の少人数による授業と給食の様子)



(ICTを活用してオンライン授業を行なう様子)

未来の教師・教育実習生の抱負

名波一樹(国語)



今年度は、夏休みの延長、分散登校、オンライン授業等、学校機関に多くの影響が出ているコロナ禍の中、何とか実習を始めることができ、大変嬉しく思っております。先日、緊張しながらも一回目の授業を終えて、自らの未熟さに気づかされました。実習が始まって一週間が経ちましたが対面ではまだ一度しか生徒に会えておらず、正直寂しい思いもあります。しかし、このような状況下においても、生徒らの学びを継続すべく努力する先生方の姿を見ていると、私も出来る事を精一杯頑張らなければと励まされます。残りの実習期間、現場ならではの学びを多く得られるように努めます。

玉那覇莉邑(音楽)



教育実習は、ずっと母校である高江中学校でやりたいと思っていたので、夢が叶って嬉しいです。久しぶりに中学校と関わって感じたこと、中学生はすごく素直で、だけど思春期という大人になるための成長の中にいるから色々な事を見て考えるということです。話すたび、生徒からの答えに驚かされました。まだ授業実習はしていませんが、これまで学んできたことを活かしながら生徒にとって魅力ある授業にできるよう教材研究もしっかり行っていきたくです。また、生徒の能力を引き出すためには、生徒理解・観察が大切だと思うので積極的にコミュニケーションを取って頑張ります。